



---

---

# あたらしい 農業技術

---

---

No.586

鉢物用マーガレット新品種「ラブリーフレンド」、「おぼろ月」、「ホットベリー」、「ファイアークラッカー」の育成

平成 25 年度



## 要 旨

### 1 技術、情報の内容及び特徴

- (1) 伊豆農業研究センターでは、年内から安定して出荷可能で、草姿のバランスに優れた本県独自の鉢物用マーガレット品種の育成に取組み、これまでに 20 品種を育成し産地に普及しています。
- (2) 今回新たに鉢物用マーガレット 4 品種を育成しました。このうち「ホットベリー」と「ファイアークラッカー」は、静岡県育成のマーガレット品種では初の赤花品種として非常に期待されます。これら 4 品種は品種登録出願を行い、平成 25 年 7 月に出願公表されました。
- (3) 交雑育種法により、中輪で桃花、一重咲きの鉢物用新品種「ラブリーフレンド」を育成しました。この品種は、年内から開花し、開花後も花色があせにくく、草姿がコンパクトで、現地の適応性も高いことから、鉢物用として有望な品種です。
- (4) 交雑育種法により、黄花で丁字咲きの鉢物用新品種「おぼろ月」を育成しました。この品種は、年内から開花し、草姿がコンパクトで、現地の適応性も高いことから、鉢物用として有望な品種です。
- (5) 交雑育種法により、極小輪で赤花、無花粉の一重咲きの鉢物用新品種「ホットベリー」を育成しました。この品種は、年内から開花し、草姿がコンパクトであり、高温期においても安定して発色し、現地の適応性も高いことから、鉢物用として有望な品種です。
- (6) 交雑育種法により、赤花で八重咲きの鉢物用新品種「ファイアークラッカー」を育成しました。この品種は、年内から開花し、草姿がコンパクトで、現地の適応性も高いことから、鉢物用として有望な品種です。

### 2 技術、情報の適用効果

- (1) 「ラブリーフレンド」、「おぼろ月」、「ホットベリー」、「ファイアークラッカー」は、鉢物用及び花壇用として利用できます。
- (2) 「ラブリーフレンド」は「キャンディマイス」の代替品種、「おぼろ月」は黄花で初の丁字咲き品種、「ホットベリー」及び「ファイアークラッカー」は、県育成のマーガレット品種では初めての赤花の一重咲き及び八重咲き品種として、商品としての品種の選択肢が広がります。
- (3) 全て年内開花する早生品種のため、市場における有利販売につながります。

### 3 適用範囲

静岡県内の鉢物産地

### 4 普及上の留意点

- (1) 現地適応性試験は静岡県東部地域で行いました。
- (2) 栽培に当たっては静岡県との許諾契約が必要です。
- (3) 「おぼろ月」、「ホットベリー」及び「ファイアークラッカー」は花首が伸びやすいため、生育中のわい化剤処理が必要です。

## 目 次

はじめに	1
1 「ラブリーフレンド」の育成と生育特性	1
(1) 育成経過	1
(2) 生育開花特性	2
(3) 現地適応性試験と作型	2
2 「おぼろ月」の育成と生育特性	3
(1) 育成経過	3
(2) 生育開花特性	3
(3) 現地適応性試験と作型	4
3 「ホットベリー」の育成と生育特性	5
(1) 育成経過	5
(2) 生育開花特性	5
(3) 現地適応性試験と作型	5
4 「ファイアークラッカー」の育成と生育特性	7
(1) 育成経過	7
(2) 生育開花特性	7
(3) 現地適応性試験と作型	8
5 各品種の開花時の様子	9
おわりに	10

## はじめに

カナリア諸島原産のマーガレットは、江戸時代末期から明治時代初期にわが国に導入されました。切り花栽培は1912年（明治45年）に房総半島、1928年（昭和3年）に伊豆半島で始まり、冬季の温暖な気候を生かして全国有数の産地となっています。鉢物栽培は、1990年（平成2年）の大阪で開催された国際花と緑の博覧会を契機に広がり、国外から多くの品種が導入されるようになりました。

鉢物・花壇用マーガレットについては、農林技術研究所伊豆農業研究センターが、秋から春にかけての長期間出荷可能な品種を数多く育成しており、静岡県東部地域の鉢物生産者が産地化を進めています。鉢物・花壇用マーガレットは、切り花用マーガレットとは異なり、多彩な花色・花型の品種が利用されています。

このため、伊豆農業研究センターでは、静岡県産マーガレットの市場の優位性と新たな販路拡大を目指してマーガレットの種内交雑や、近縁属であるハナワギクとの属間交雑による品種育成を進め、2013年（平成25年）3月までに切り花用品種11品種、鉢物・花壇用品種20品種を育成してきました。そして、更なる品種のバラエティの充実を目指して育成を進めてきた結果、交雑育種法により「ラブリーフレンド」、「おぼろ月」、「ホットベリー」、「ファイアークラッカー」の4品種を育成したので、その育成経過と生育特性について説明します。

### 1 「ラブリーフレンド」の育成と生育特性

#### （1）育成経過

本品種の育成経過の概要を図1に示します。

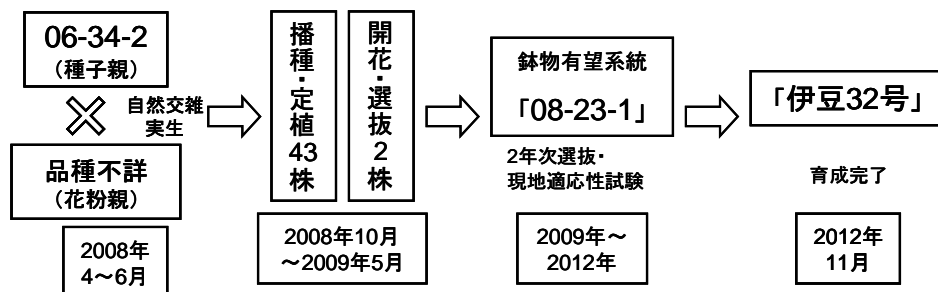


図1 「ラブリーフレンド（伊豆32号）」の育成経過

2008年（平成20年）4～6月に静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センター南伊豆ほ場（賀茂郡南伊豆町上賀茂）において、育成系統「06-34-2」を種子親とした自然交雑種子が得られました。同年10月に播種して発芽した43個体を定植し、花色及び花型、分枝性等に着目して2個体を優良個体として2009年5月に選抜しました。選抜個体を系統とし、所内及び現地ほ場で生育及び開花特性に注目して、2009年から2012年にかけて選抜を行いました。その結果、花色が桃色、一重咲きで銀葉の「08-23-1」が鉢物用品種として有望であることから、育成系統候補「伊豆32号」として、2012年11月に育成を完了しました。

「伊豆32号」は、品種名を「ラブリーフレンド」に決定後、品種登録出願を行い2013年（平成25年）7月5日に出願公表されました（品種登録出願番号第28044号）。

## (2) 生育開花特性

「ラブリーフレンド」は中輪タイプの一重咲きの桃花で、銀葉で草丈は低く分枝性も良好であるため、コンパクトな草姿に仕立てることができます(表1)。

開花後の花弁の色あせが起りにくい特徴を持っており、また、出荷期間中で比較的高温になりやすい5月や10月においても、花弁は色あせることなく発色が良好です。花数が多く連続開花性を有しているために、長期間にわたり観賞できます。

表1 「ラブリーフレンド」の生育開花特性(所内試験、地床栽培)<sup>1)</sup>

系統名	草型	草丈 (cm)	開花 開始	花色		花径 (cm)	花型	葉の形質		
				舌状花	管状花			葉色 <sup>2)</sup>	葉の欠刻	葉縁の鋸歯
ラブリーフレンド	丸	55~60	12月上	桃	黄	5.5~6.0	一重	灰緑	中	鈍
サンデーリップル <sup>3)</sup>	開張	50~55	9月上	白	黄	4.0~4.5	一重	淡緑	深	深鋭

1) 生育特性はマーガレット審査基準により栽培期間中に観察調査を行った。

挿し芽: 2009年6月3日、定植: 7月2日、摘心: 8月4日

2) 葉色は「在来白」の葉色を基準として判定した。

3) 対照品種

## (3) 現地適応性試験と作型

「ラブリーフレンド」は極早生品種であり、静岡県東部地域における7月定植の作型では、10月下旬から出荷が可能です(表2)。生産者からは、比較的コンパクトな草姿で開花し、これまでの桃花品種に比べて発色がよく、開花後の色あせが起りにくい点で評価されました。

表2 「ラブリーフレンド」の現地試験における生育特性及び評価(ポット栽培)<sup>1)</sup>

品種・系統名	草丈 (cm)	開花開始	花径 (cm)	花色	花型	栽培担当者 <sup>2)</sup> の評価
ラブリーフレンド	15~20	10月下	5.5~6.0	桃	一重	花色が良く、開花が早い(Z、Y、X、W、V)
サンデーリップル <sup>3)</sup>	10~15	9月下	4.0~4.5	白	一重	
キューティーマイス <sup>3)</sup>	10~15	10月中	4.0~5.0	桃	丁字	

1) 生育特性はマーガレット特性審査基準に従って観察調査を行った。

挿し芽: 2011年6月23日、鉢上げ(10.5cmポット): 7月12日、生産者引渡し7月27日、以降は現地慣行の作型で栽培した。

2) 沼津市(Z)、伊豆の国市(Y)、三島市(X、W)、富士宮市(V)

3) 対照品種

「ラブリーフレンド」は、鉢物と花壇苗の両方で利用可能です。鉢物向けにおける鉢サイズは、4号鉢での出荷が一般的です。栽培時期としては、10月中旬から1月初旬の秋冬出荷、1月から3月の冬春出荷、3月下旬から5月までの春出荷のいずれの時期でも栽培が可能です(図2)。

出荷時期	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
秋冬	△	—	◎	—	×	□						
冬春				△	—	◎	—	×	□			
春						△	—	◎	—	×	□	

図2 「ラブリーフレンド」における鉢物向け栽培の基本作型<sup>1)</sup>

- 1) 凡例は、△：挿し芽、◎：定植、×：摘心、□：出荷期を示す。
- 2) 矮化剤は、摘心後に生育に応じて散布する。

## 2 「おぼろ月」の育成と生育特性

### (1) 育成経過

本品種の育成経過の概要を図3に示します。

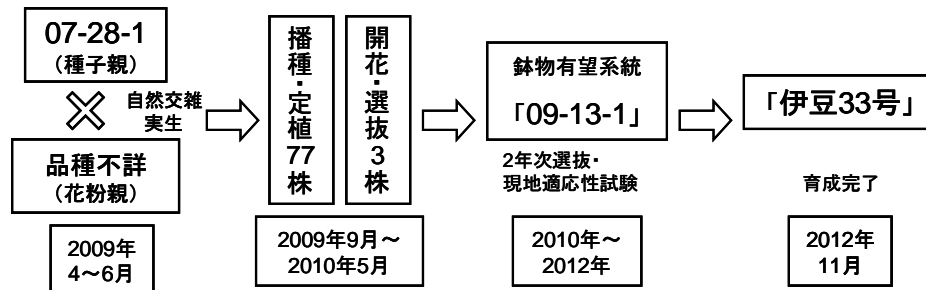


図3 「おぼろ月（伊豆33号）」の育成経過

2009年（平成21年）4～6月に静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センター南伊豆ほ場（賀茂郡南伊豆町上賀茂）において、育成系統「07-28-1」を種子親とした自然交雑種子が得られました。同年9月に播種して発芽した77個体を定植し、花色及び花型、分枝性等に着目して3個体を優良個体として2010年5月に選抜しました。選抜個体を系統とし、所内及び現地ほ場で生育及び開花特性に注目して、2010年から2012年にかけて選抜を行いました。その結果、黄花で丁字咲きの「09-13-1」が鉢物用品種として有望であることから、育成系統候補「伊豆33号」として、2012年11月に育成を完了しました。

「伊豆33号」は、品種名を「おぼろ月」に決定後、品種登録出願を行い2013年（平成25年）7月5日に登録公表されました（品種登録出願番号第28042号）。

### (2) 生育開花特性

「おぼろ月」は小輪タイプの黄花で丁字咲きであり、草丈は低く、分枝性も良好であるため、コンパクトな草姿に仕立てることができます（表3）。

「おぼろ月」は、鉢物用マーガレットでは初めての黄花の丁字咲き品種です。丁字咲きのため、開花後は中心部の管状花部分が徐々に開花していくため花型の変化を楽しめるとともに、管状花部分全体が満開になるとボリューム感あふれる花になります。

表3 「おぼろ月」の生育開花特性（所内試験、地床栽培）<sup>1)</sup>

系統名	草型	草丈 (cm)	開花 開始	花色		花径 (cm)	花型	葉の形質		
				舌状花	管状花			葉色 <sup>2)</sup>	葉縁の鋸歯	鋸歯の粗密
おぼろ月	開張	60~65	1月以降	黄色	—	4.5~5.5	丁字	緑	深鈍	密
サンデーリップル <sup>3)</sup>	開張	50~55	10月下	白	黄	4.0~4.5	一重	淡緑	深鋭	粗

1) 生育特性はマーガレット審査基準により栽培期間中に観察調査を行った。

定植：2010年7月21日

2) 葉色は「在来白」の葉色を基準として判定した。

3) 対照品種

### (3) 現地適応性試験と作型

「おぼろ月」は、静岡県東部地域における7月定植の作型では、11月中旬から出荷が可能です（表4）。生産者からは、開花時が鮮やかな黄色で丁字咲きが今までになく、また、草姿がコンパクトで鉢物用として仕立てやすい点が評価されました。

既存の丁字咲き品種（白花品種「スイートリップル」と桃花品種「キューティーミス」）を組み合わせ、丁字咲きシリーズという新たな鉢物商品として、期待できるとの意見がありました。

表4 「おぼろ月」の現地試験における生育特性及び評価（ポット栽培）<sup>1)</sup>

品種・系統名	草丈 (cm)	開花開始	花径 (cm)	花色	花型	栽培担当者 <sup>2)</sup> の評価
おぼろ月	10~15	11月中	5.5~6.0	黄	丁字	花色が良く、花型が珍しい (Z、Y、X、W、V)
サンデーリップル <sup>3)</sup>	10~15	9月下	4.0~4.5	白	一重	
キューティーミス <sup>3)</sup>	10~15	10月中	4.0~5.0	桃	丁字	

1) 生育特性はマーガレット特性審査基準に従って観察調査を行った。

挿し芽：2011年6月23日、鉢上げ（10.5cmポット）：7月12日、生産者引渡し7月27日、以降は現地慣行の作型で栽培した。

2) 沼津市 (Z)、伊豆の国市 (Y)、三島市 (X、W)、富士宮市 (V)

3) 対照品種

「おぼろ月」は、鉢物と花壇苗の両方で利用可能です。鉢物向けにおける鉢サイズは、4号鉢での出荷が一般的です。栽培時期としては、12月から2月の秋冬出荷、3月から5月までの春出荷のいずれの時期でも栽培が可能です（図4）。ただし、花首が細く徒長しやすい特徴を持っており、わい化剤の散布が必要です。

出荷時期	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
秋冬	△	◎	×	—————			□						
春	—————					△	◎	×	—————				□

図4 ‘おぼろ月’における鉢物向け栽培の基本作型<sup>1)</sup>

1) 凡例は、△：挿し芽、◎：定植、×：摘心、□：出荷期を示す。

2) 矮化剤は、摘心後に生育に応じて散布する。



### 3 「ホットベリー」の育成と生育特性

#### (1) 育成経過

本品種の育成経過の概要を図5に示します。

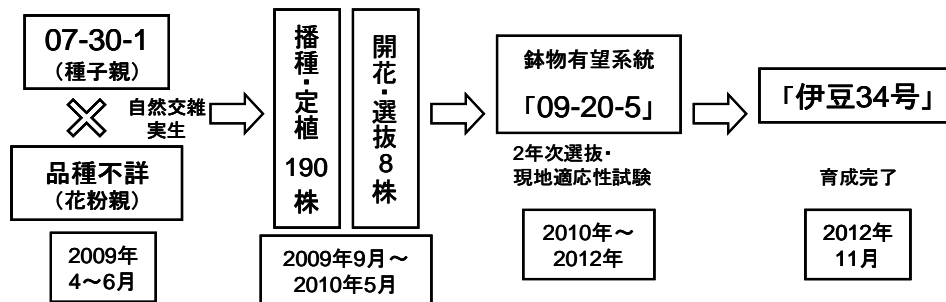


図5 「ホットベリー（伊豆34号）」の育成経過

2009年（平成21年）4～6月に静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センター南伊豆ほ場（賀茂郡南伊豆町上賀茂）において、育成系統「07-30-1」を種子親とした自然交雑種子が得られました。同年9月に播種して発芽した190個体を定植し、花色及び花型、分枝性等に着目して8個体を優良個体として2010年5月に選抜しました。選抜個体を系統とし、所内及び現地ほ場で生育及び開花特性に注目して、2010年から2012年にかけて選抜を行いました。その結果、極小輪で赤花の一重咲き、無花粉の「09-20-5」が鉢物用品種として有望であることから、育成系統候補「伊豆34号」として、2012年11月に育成を完了しました。

「伊豆34号」は、品種名を「ホットベリー」に決定後、品種登録出願を行い2013年（平成25年）7月5日に出願公表されました（品種登録出願番号第28043号）。

#### (2) 生育開花特性

「ホットベリー」は、極小輪タイプで赤花の一重咲き品種で、本県育成のマーガレット品種において初の赤花品種です（表5）。花は無花粉で、花数が多く連続開花性を有しているため長期間にわたり観賞できます。また、出荷期間中で比較的高温になりやすい5月や10月においても、花卉は色あせることなく発色が良好です。分枝性は良好であるため、コンパクトな草姿に仕立てることができます。

表5 「ホットベリー」の生育開花特性（所内試験、地床栽培）<sup>1)</sup>

品種・系統名	草型	草丈 (cm)	開花 開始	花色		花径 (cm)	花型	葉の形質		
				舌状花	管状花			葉色 <sup>2)</sup>	葉身長	葉身幅
ホットベリー	開張	65～70	1月以降	赤	黄	3.5～4.0	一重	緑	中	中
サンデーリップル <sup>3)</sup>	開張	50～55	10月下	白	黄	4.0～4.5	一重	淡緑	短	狭

1) 生育特性はマーガレット審査基準により栽培期間中に観察調査を行った。

定植：2010年7月21日

2) 葉色は「在来白」の葉色を基準として判定した。

3) 対照品種

#### (3) 現地適応性試験と作型

「ホットベリー」は、静岡県東部地域における7月定植の作型では11月上旬から出荷が可能

です（表6）。無花粉の赤花品種という点で生産者からの評価が高く、開花が早い鉢物用品種として評価されました。また、高温期においても花の発色がよく、鉢物用として仕立てやすい点も評価されました。

表6 「ホットベリー」の現地試験における生育特性及び評価（ポット栽培）<sup>1)</sup>

品種・系統名	草丈 (cm)	開花開始	花径 (cm)	花色	花型	栽培担当者 <sup>2)</sup> の評価
ホットベリー	20~25	11月上	3.5~4.0	赤	一重	花色は良いが、枝が細く徒長気味である (Z、Y、X、W、V) 無花粉である (Z、Y、X、W、V)
サンデーリップル <sup>3)</sup>	10~15	9月下	4.0~4.5	白	一重	
キューティーマイス <sup>3)</sup>	10~15	10月中	4.0~5.0	桃	丁字	

1) 生育特性はマーガレット特性審査基準に従って観察調査を行った。

挿し芽：2011年6月23日、鉢上げ（10.5cmポット）：7月12日、生産者引渡し7月27日、以降は現地慣行の作型で栽培した。

2) 沼津市 (Z)、伊豆の国市 (Y)、三島市 (X、W)、富士宮市 (V)

3) 対照品種

「ホットベリー」は、鉢物と花壇苗の両方で利用可能です。鉢物向けにおける鉢サイズは、4号鉢での出荷が一般的です。栽培時期としては、10月中旬から1月初旬の秋冬出荷、1月から3月の冬春出荷、3月下旬から5月までの春出荷のいずれの時期でも栽培が可能です（図6）。ただし、樹勢が強く徒長しやすい特徴を持っており、わい化剤の散布が必要です。

出荷時期	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
秋冬	△	—	◎	—	×	□						
冬春				△	—	◎	—	×	□			
春						△	—	◎	—	×	□	

図6 「ホットベリー」における鉢物向け栽培の基本作型<sup>1)</sup>

1) 凡例は、△：挿し芽、◎：定植、×：摘心、□：出荷期を示す。

2) 矮化剤は、摘心後に生育に応じて散布する

#### 4 「ファイアークラッカー」の育成と生育特性

##### (1) 育成経過

本品種の育成経過の概要を図7に示します。

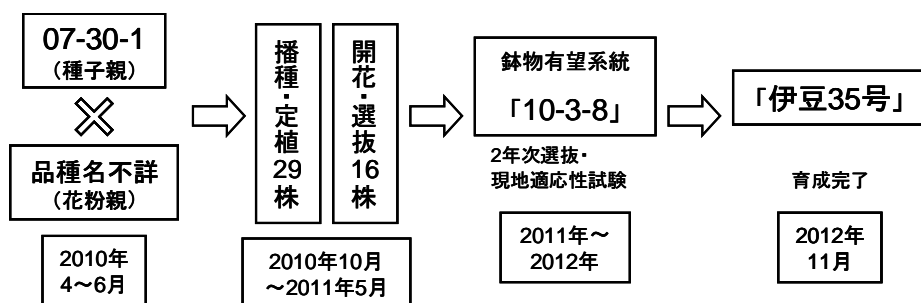


図7 「ファイアークラッカー（伊豆35号）」の育成経過

2010年（平成22年）4～6月に静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センター（賀茂郡東伊豆町稲取）において、育成系統「07-30-1」を種子親、品種名不詳の赤色品種を花粉親として交配を行いました。得られた種子を同年10月に播種して発芽した29個体を定植し、花色及び花型、分枝性等に着目して16個体を優良個体として2011年5月に選抜しました。選抜個体を系統とし、所内及び現地ほ場で生育及び開花特性に注目して、2011年から2012年にかけて選抜を行いました。その結果、小輪で赤花の八重咲きの「10-3-8」が鉢物用品種として有望であることから、育成系統候補「伊豆35号」として、2012年11月に育成を完了しました。

「伊豆35号」は、品種名を「ファイアークラッカー」に決定後、品種登録出願を行い2013年（平成25年）7月5日に出願公表されました（品種登録出願番号第28045号）。

##### (2) 生育開花特性

「ファイアークラッカー」は、小輪タイプで赤花の八重咲き品種で、本県育成のマーガレット品種において初の赤花品種です（表7）。花数が多く連続開花性を有しているため、長期間にわたり観賞できます。草丈は低く分枝性も良好であるため、コンパクトな草姿に仕立てることができます。

「ファイアークラッカー」は、開花後に中心部が徐々に開花していくため花型の変化を楽しめるとともに、満開時においても色あせずにボリューム感があふれる花になります。

表7 「ファイアークラッカー」の生育開花特性（所内試験、地床栽培）<sup>1)</sup>

系統名	草型	草丈 (cm)	開花 開始	花色		花径 (cm)	花型	葉の形質		
				舌状花	管状花			葉色 <sup>2)</sup>	葉の欠刻	葉型
ファイアークラッカー	開張	60～65	1月上	赤	黄	4.5～5.0	八重	濃緑	中	II
サンデーリップル <sup>3)</sup>	開張	50～55	12月下	白	黄	4.0～4.5	一重	淡緑	深	III

1) 生育特性はマーガレット審査基準により栽培期間中に観察調査を行った。

挿し芽：2011年7月19日、定植：8月9日

2) 葉色は「在来白」の葉色を基準として判定した。

3) 対照品種

### (3) 現地適応性試験と作型

「ファイアークラッカー」は、極早生品種であり、静岡県東部地域における7月定植の作型では12月上旬から出荷が可能です(表8)。赤花の八重咲き品種という点で生産者からの評価が高く、また、開花後は鮮やかな赤花で、草姿がコンパクトでボリューム感にあふれ鉢物用として仕立てやすい点も評価されました。

表8 「ファイアークラッカー」の現地試験における生育特性及び評価(ポット栽培)<sup>1)</sup>

品種・系統名	草丈 (cm)	開花開始	花径 (cm)	花色	花型	栽培担当者 <sup>2)</sup> の評価
ファイアークラッカー	15~20	12月上	5.0~5.5	赤	八重	花の形質は良いが、枝が細く徒長気味である(Z、Y、X、W、V) ボリューム感がある(Z、Y、X、W、V)
サンデーリップル <sup>3)</sup>	10~15	10月中	4.0~4.5	白	一重	
キューティーマイス <sup>3)</sup>	10~15	10月下	4.5~5.0	桃	丁字	

1) 生育特性はマーガレット特性審査基準に従って観察調査を行った。

挿し芽: 2011年6月23日、鉢上げ(10.5cmポット): 7月12日、生産者引渡し7月27日、以降は現地慣行の作型で栽培した。

2) 沼津市(Z)、伊豆の国市(Y)、三島市(X、W)、富士宮市(V)

3) 対照品種

「ファイアークラッカー」は、鉢物と花壇苗の両方で利用可能です。鉢物向けにおける鉢サイズは、4号鉢での出荷が一般的です。栽培時期としては、11月から1月の秋冬出荷、3月から5月までの春出荷のいずれの時期でも栽培が可能です(図8)。ただし、花首が細く徒長しやすい特徴を持っており、わい化剤の散布が必要です。

出荷時期	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
秋冬	△	-	◎	-	×	□						
春						△	-	◎	-	×	□	

図8 「ファイアークラッカー」における鉢物向け栽培の基本作型<sup>1)</sup>

1) 凡例は、△: 挿し芽、◎: 定植、×: 摘心、□: 出荷期を示す。

2) 矮化剤は、摘心後に生育に応じて散布する。

5 各品種の開花時の様子

(1)「ラブリーフレンド」



満開時の様子



花の拡大図

(2)「おぼろ月」



満開時の様子



花の拡大図

(3)「ホットベリー」



満開時の様子



花の拡大図

#### (4)「ファイアークラッカー」



満開時の様子



花の拡大図

#### おわりに

本報告では、伊豆農業研究センターで2012年（平成24年）に育成した鉢物用マーガレット新品種「ラブリーフレンド」、「おぼろ月」、「ホットベリー」、「ファイアークラッカー」の4品種について、育成経過及び生育特性について紹介しました。鉢物用マーガレット品種は海外で育成されており、品種数も大幅に増加しています。このため海外で育成された品種が国内に導入され、産地間競争が激しくなっている中、オリジナル品種の育成が静岡県の鉢物産地に大きく寄与できることを切に願っています。

今回育成した4品種は、本県育成のマーガレットでは初めての赤花品種や、黄花の丁字咲き品種等新たな特性を持っており、現地適応性試験を行った生産者からも非常に期待されている品種です。特に赤花の2品種は、新たな花色シリーズとしてバリエーション豊かな品種構成につながり、新たな需要拡大が期待できます。今後、これら4品種の栽培体系の構築により、より県内産地への普及が進み、将来の生産振興に役立てていけるものと考えています。

伊豆農業研究センターでは、農林技術研究所育種科と連携してマーガレットの品種育成に取り組み、今回の4品種を合わせて切り花用11品種、鉢物用24品種を育成し、県内産地に普及してきました。今後もマーガレットの品種育成を継続して進めていき、新しい花色や花型、高生産性、耐暑性等の特性を持った切り花用や鉢物用品種の育成を目指していきます。

農林技術研究所伊豆農業研究センター 主任研究員 岩崎勇次郎  
研究員 武藤 貴大

発行年月：平成26年3月

編集発行：静岡県経済産業部振興局研究調整課

〒420-8601

静岡市葵区追手町9番6号

TEL 054-221-2676

この情報は下記のホームページからご覧になれます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-130a/>

